

マテリアリティ	2021年度取り組み	貢献するSDGsゴール
革新的な医薬品の創出	<p>がん領域における標準治療を変革する先進的な製品、パイプラインの充実 開発計画に即したタイムリーな技術移転、申請および承認。新たな治療セグメントの開拓、新規モダリティであるデジタルソリューションの開発</p> <p>スペシャルティ領域におけるアンメットメディカルニーズの充足 疼痛治療薬の国内における効能追加、新製品の上市</p> <p>グローバル品質マネジメント体制の強化推進 医薬品等に関連する当局査察や品質イベントの発生状況、重大な品質課題をグローバルで一元管理するシステム(eQMS)を導入し、グローバル監視体制を整備</p> <p>新型コロナウイルスワクチンの開発 早期実用化を目指し、自社独自のワクチン開発、生産体制整備の推進</p>	
高品質な医薬品の安定供給	<p>がん主力製品安定供給に向けた対応 供給量拡大に向けた製造サイト/ライン追加及び技術移転の対応、品質保証と安定供給の両立体制強化</p> <p>安定供給を目的とした製造元調査、取引先評価の実施 海外グループ会社が調達する原材料を対象とした製造元トレーサビリティの正確な把握と適正な取引先選択に向けた製造元調査の実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症禍における既存ワクチンの安定供給 感染拡大防止策を推進しながら、安定生産を継続することで、公衆衛生の維持のために不可欠な既存ワクチンの安定供給を達成</p> <p>季節性インフルエンザワクチンの安定供給 新型コロナウイルス感染症禍で世界的な原材料・資材調達の遅延が発生する中での安定供給を推進</p>	
高品質な医療情報の提供	<p>お客様相談室における人工知能(AI)を利用したQ&A検索システムの活用 抗がん剤ジェネリック製品に関する患者さんや医療関係者からの問い合わせに対し、人工知能(AI)を利用したQ&A検索システムを導入、必要かつ最適な製品情報をより短時間でお届け</p> <p>「くすり健康情報局」によるOTC医薬品の適正使用推進 様々な症状の「原因」や「予防」、市販薬を使った正しい対処法を紹介やくすりについて知ってみたい情報を第一三共ヘルスケアのコーポレートサイト上で詳しく解説</p> <p>がん主力製品の安全性情報統合分析 社内外データの統合分析が可能な統合データ分析基盤(IDAP)をグローバルでの利用を推進。複数の臨床試験データや市販後の副作用情報の統合分析を行い、医療関係者への副作用の経過情報、患者さんの背景別の副作用発現頻度等の高品質な安全性情報の提供を迅速に提供</p> <p>がん領域の医師主導治験一元管理するグローバルシステムの構築 世界各国の医療関係者の直接入力による受付、社内レビュー、承認プロセス、履行までを一元管理するシステムを導入。がん領域の医薬品の新たなエビデンス創出をサポートすることで、いち早く医療関係者・患者さんにエビデンスを発信し、患者さんにベネフィットを提供</p>	
医療アクセスの拡大	<p>COVID-19ワクチン開発と生産体制の構築 関係先への技術的支援、製造技術の迅速な確立。受託生産において早期市場供給に寄与。国内使用ならびに日本政府を通じ東南アジア等に提供</p> <p>がん主力製品の日欧米に加え多くの国での薬事申請、承認取得 日米欧以外の4か国での申請、8か国での承認取得。未承認下における治療プログラムの実行において、薬剤が安全に使用されるためのリスクマネジメント体制を構築し、がん治療が必要な患者さんへ早期に薬剤を届ける取り組みに貢献</p> <p>希少疾病に対するアンメットメディカルニーズに対応 遺伝子発現治療薬の上市、ヒト体細胞加工製品の市場導入への対応</p> <p>開発途上国における地域医療基盤の強化 ネパールにおいて乳がん・子宮頸がんのスクリーニングキャンプを開始</p>	
環境経営の推進	<p>バイオマスプラスチックの採用促進 ジェネリック製品のバラ包装におけるバイオマスプラスチック資材の採用を促進し、CO2排出量削減と石化樹脂使用量低減を実現</p> <p>営業車両のガソリン消費量削減 ABS(遠隔地を中心とした営業拠点)への社内LAN環境整備を通じて、営業所に帰社する等の車両による長距離移動の機会を減らし、車両の走行距離によるガソリン消費量の削減を実現</p> <p>再生可能エネルギー電気メニュー導入 国内グループ購入電力の約90%以上を占める全工場・全研究所・本社ビル・研修所・物流センターの電力について、再生可能エネルギー電気メニュー(再生可能エネルギー指定のFIT非化石証書でトラッキング)の追加契約を締結し、運用開始</p> <p>バイオマス包装資材の採用 当社製品への破瓶防止カップ適用やブラボルト容器適用の評価を完了する等、製造におけるCO2排出量が少ないバイオマスプラスチックの医薬品包装資材への適用を検討</p>	
コンプライアンス経営の推進	<p>ビジネスパートナーを対象としたCSR自己点検調査実施 ビジネスパートナーを対象に実施している「CSR自己点検調査」について、海外グループ会社と連携して主に未回答の海外取引先に対する調査票の回収に取り組み、回収率96%を達成(前年度回収率:84%)</p> <p>Quality Cultureの醸成 バリューチェーン・提携先・委託先・治験等のグローバル化に伴った、品質及び信頼性保証の管理対象の急速な拡大・複雑化の中、全社をあげて品質マネジメントの強化に取り組み、品質に関する基本方針として「第一三共グループクオリティポリシー」を制定(2021年4月1日施行)し、併せて全社員教育を実施、経営陣との品質マネジメントレビューを開始</p> <p>ビジネスパートナーリスクマネジメント体制の構築 ビジネスパートナーに起因した問題によるリスクを回避すべく、グループ全体でビジネスパートナーリスクを継続的に回避できる体制構築の一環として、ビジネスパートナーのリスク評価と継続的なモニタリングをベースとした国内ガイドラインを2021年9月に制定・運用開始</p> <p>プロモーションコード等を遵守した学術会合の開催のための施策実施 講演会における聴講者への適正使用対応・医師招聘研修実施時等の留意点、グローバル主管会合時の透明性ガイドライン対応について確認・周知を実施</p>	
企業理念の実現に向けたコーポレートガバナンス	<p>コーポレートガバナンス・コード遵守の確認・開示 改訂コーポレートガバナンス・コードを100%遵守できていることを確認し、新たに開示が求められた原則も含め、コーポレートガバナンス報告書にて開示</p> <p>取締役会実効性の改善策遂行と今年度第3者評価実施 2020年度実効性評価で抽出された課題に対する改善策を実施。また、第三者機関を選定し、当該企業の支援のもと、取締役会実効性評価を実施</p> <p>監査役会実効性の改善策遂行と今年度自己評価実施 2020年度の実効性評価で抽出された課題に対する改善策を実施。また、2021年度監査役会実効性評価について自己評価を実施し、2022年度に取り組む課題を抽出</p> <p>コーポレートガバナンスに関する開示の充実・透明性の向上 役員報酬制度の改定やスキルマトリックスの策定・開示を実施。また、改訂コーポレートガバナンス・コードに基づく開示を実施。さらに、取締役会議長がメッセージをバリューレポートにて公表、ESG説明会にて登壇</p>	
競争力と優位性を生み出す多様な人材の活躍推進と育成	<p>製造施設でのジェンダー平等に向けた対応 製造施設のジェンダー平等対応方針(例: LGBTに対応した多目的トイレ、更衣室の設置)を策定し、新たに建設する製造施設に適用を開始</p> <p>積極的な子育て支援 「制度を利用しやすい環境づくり」と「多様性に対応した制度づくり」の両面から積極的に子育て支援に取り組み、第一三共ヘルスケアでも、厚生労働省より子育てサポート企業として「プラチナくるみん」の認定を取得</p> <p>社員の付加価値創出活動時間の創出 翻訳AIの活用による翻訳業務の効率化と内製化によるコスト削減、音声認識AIの活用による会議議事録作成業務の効率化、業務の棚卸しとRPA活用による業務自動化等、社員が本来注力すべき付加価値創出活動のための時間創出を目的として、先進デジタル技術の活用による定型業務等の自動化・効率化を推進</p> <p>MRの働き方改革推進 営業拠点を分散化による移動効率の向上を目指す環境整備や、ABW(Activity Based Working)の考え方を取り入れたオフィス設計等、時代の変化に合わせた働き方を推進し、業務運営効率を向上させ、MRの健康管理時間を削減</p>	